

あおぞら

行方市 社協だより

No.31 2013.12.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会
住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



共同募金運動でイベント募金を実施（市民運動会）

P12

善意銀行・編集後記

P10-11

お知らせ

P9

共同募金・
歳末たすけあい事業

P8

ボランティア情報

P7

社協のさーびす③

P6

はじめての手話⑧

P5

いばらきねりん
スポーツ大会
介護予防教室参加者募集

P4

いきいき長寿者紹介

P3

平成25年度会費報告

P2

会長就任あいさつ

目次

会長就任あいさつ



社会福祉法人 行方市社会福祉協議会

会長 鈴木 周也

このたび10月2日付で、社会福祉法人 行方市社会福祉協議会会長に就任いたしました鈴木周也でございます。もとより微力ではございますが、住民の参画による豊かな福祉のまちづくりに向けて最善をつくす所存でございます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今日の急速な少子高齢社会の進行や家族機能の変化等により社会福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、福祉への需要も拡大・多様化しております。そのような社会福祉情勢のなか、社会

福祉協議会には、地域福祉サービスの拠点として公益性・公共性が強く期待されているところであり、地域福祉への積極的な取り組みが今まで以上に求められています。

当会におきましては、昨年度「あなたが支えるふるさとなめがた」を基本理念とした地域福祉活動計画を策定いたしました。この計画は地域の皆様や福祉・保健等の関係団体や事業者が、地域福祉の推進に主体的に関わるための具体的な活動をまとめたものであり、まさに行方市の地域福

祉において指針のひとつとなるものであります。この計画を実行すべく全力で取り組んで参ります。

今後も、市民の皆様の信頼と期待に応えるために、地域の福祉ニーズに常に耳を傾けるとともに、地域に密着した活動を展開できる行方市社会福祉協議会を目指し、役員一丸となつて地域福祉の向上に努めて参りますので、皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。会長就任にあたってのご挨拶といたします。

平成25年度行方市社会福祉協議会会員加入 ありがとうございます

本年度も社会福祉協議会の会員募集を実施させていただき、多くの方に会員としてご加入をいただきました。

皆様から寄せられました会費は、給食サービス事業やボランティア活動の推進、在宅生活支援事業など、地域福祉を推進していくための財源として活用させていただきます。

会員としてご加入いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

○平成25年度 社会福祉協議会会費実績 (平成25年11月15日現在)

一般会費	8,265件	8,265,000円
賛助会費	224件	672,000円
特別会費	135件	1,370,000円
合計	8,624件	10,307,000円

○平成25年度 特別会員としてご協力いただいた皆様 (平成25年11月15日現在 敬称略)

〈3口〉 有限会社永作葬祭

〈1口〉

旭屋
麻生印刷
特別養護老人ホームあそこの郷
株式会社阿部産業
有限会社飯河生花店
株式会社井川食品
有限会社石田モータース
株式会社石間流通
株式会社出沼三郎商店
出沼石油店有限会社
有限会社インテリアコバヤシ
株式会社A-1建築事務所
有限会社オーエムメディア
有限会社大蔵
大場紙器工業株式会社
株式会社大盛電機
有限会社オジマ
有限会社オニワ
有限会社小貫自動車
小沼商事株式会社
有限会社風間タクシー
霞観光株式会社
介護老人保健施設かすみがうら
金塚医院
有限会社兼平工務店
関東穀粉株式会社
特別養護老人ホームきたうら
有限会社北浦園芸
有限会社北浦工業所
北浦樹脂工業株式会社
有限会社北浦設備
有限会社北浦タクシー
北浦肥料株式会社
北村コンクリート工業株式会社茨城工場
吉藤運送株式会社
特別養護老人ホーム玉寿荘
株式会社久米工務店
株式会社倉川製作所
久力製作所株式会社
有限会社啓生バス観光
Kマートはまだ
甲谷薬局
株式会社弘和茨城工場
有限会社小林自動車
齋藤建設株式会社

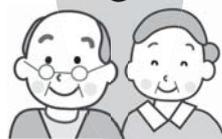
有限会社斉藤商事
有限会社さいとうストア
株式会社サポート
佐原信用金庫麻生支店
株式会社サントー
株式会社三和測量
常陽開発工業株式会社
株式会社常陽銀行麻生支店
株式会社常陽銀行北浦支店
株式会社常陽銀行玉造支店
有限会社白帆観光ハイヤー
株式会社末広商店
菅谷電業
須田石油
勢司商会
清宮電気株式会社
関商店
株式会社筈台石油
株式会社タカサキ
高須自動車工業
株式会社高塚製作所
高野歯科医院
高橋建設株式会社
高柳自動車
有限会社田中電気工事
田山観光バス株式会社
千ヶ崎歯科医院
株式会社千ヶ崎鉄工所
株式会社筑波銀行麻生支店
有限会社土子建材
土子コンクリート工業株式会社
ティヴィバルブ株式会社茨城工場
有限会社出久根タクシー キタウラ
株式会社土蔵屋
永峰プレス工業有限会社
有限会社なめがたサービス
行方市損害保険専門代理店組合
なめがた地域総合病院
なめがた農業協同組合
有限会社成田製作所
株式会社成忠
成忠テクノス株式会社
額賀運輸有限会社
株式会社根崎工務店
有限会社根本組

有限会社根本保険事務所
ノースショアントリークラブ
有限会社はしもと
株式会社羽生工務店
有限会社原運輸
ビー・エス・コンクリート株式会社茨城工場
有限会社東関東サービス
有限会社平野工業
有限会社平山商事
平山設備工業株式会社
株式会社フィルド食品
有限会社フジ電気設備
有限会社フジ道路
株式会社フルウチ
法水歯科医院
ボディショップG-flag
堀越交通株式会社
松沢建設株式会社
松沢書店
株式会社松本
松本薬局
マツヤ
有限会社マルゴストアー
マルハ交通株式会社
有限会社満州工務店
水飼商店株式会社
有限会社溝口工業
水戸信用金庫麻生支店
水戸信用金庫玉造支店
株式会社ミノワ
箕輪商店
箕輪リース株式会社
有限会社三松タクシー
茂木損害保険事務所
有限会社柳町観光自動車
株式会社山勝建設
ゆたか福祉用具貸与事業所
有限会社横田運送
有限会社吉崎モータース
株式会社ライスミル
株式会社陸前織物
介護老人保健施設リヒトハウス北浦
株式会社レイク
株式会社鹿行畜産

「らきらき長寿者紹介」

田中四郎さん 89歳
トキさん 84歳

（行方市麻生新田）



例年になく台風が多い今年。その日も台風の接近が予想されていました。しかし、お伺いした時間帯は穏やかで、雨はおろか晴れ間さえのぞいていま

た。それはまるでおふたりの雰囲気のようにあり、とても心地よいものでした。

田中さんは東京の神田で5人兄弟の4番目としてお生まれになりました。終戦後、葛飾でこ

田中さんご夫妻



兄弟と共に会社を興し、昭和60年まで会社の指揮をとられたそうです。その後、かねてからの希望であった「水と緑に囲まれた生活」を実現するため、今の地に引越してこられたそうです。当時のことについてお伺いしました。

「当時はよくレイクエコーの教室にふたりで参加していました。だいたい6ヶ月間の教室が多かったのですが、終わればまた次の教室というように。おかげで詩吟や大正琴などを覚えることができました。なにより知り合いができていくのが嬉しかったですね。当初は近くに知り合いがいなくて不安がありましたからね。」と当時のことを懐かしそうにお話してくださいました。

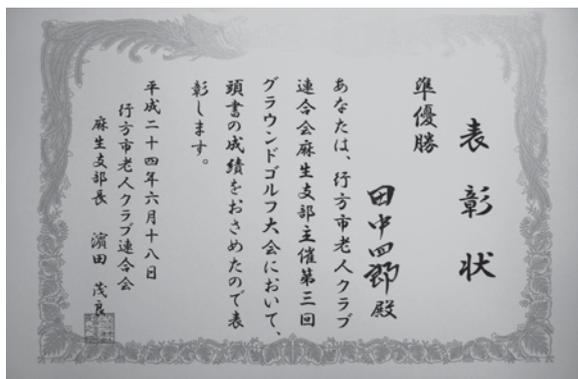
現在は、グラウンドゴルフや散歩などをされて健康維持に努めていらっしゃいます。

また、自家菜園でなす、きゅうり、トマト、スイカ、じゃがいもなどを作っていて大概のものは買わなくてすむそうです。

取材中、終始質問に答えてくださったのは奥様のトキさんでした。それを優しい笑顔で見つめる四郎さん。聞けば、ほとんどのことはふたりでされているそうです。これからの目標について伺ったときは、「100歳までふたりで仲良く生きたいね。」とちよつと照れくさそうに答えてくださったのがとても印象に残りました。

好きな言葉は「おもいやり」まさに互いが互いを思いやって生かされている田中さんご夫妻。その仲睦まじい様子はとても微笑ましくもありました。そしてそれは他人との関係が希薄になりつつある現代で、晴れ間のようにも感じられました。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。



グラウンドゴルフ大会での賞状

健康づくりはスポーツで！～日頃の「技」を競い合う～

10月17日(木) 笠松運動公園において、第18回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会が開催されました。これは高齢者に適したスポーツを通じて健康の増進を図るとともに、地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会づくりを目的として毎年開催されています。この日は県内各地より約1,200名の高齢者の方々が参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。

前日の荒天からは想像できないような晴天の中、当市からもクロッケー、ゲートボール、ペタンク、輪投げ、グラウンドゴルフの各種目に25名の方々が出場しました。惜しくも入賞とはいきませんでした。みなさん心地よい汗を流していました。



輪投げ



クロッケー



ペタンク



ゲートボール

出場チーム及び選手（順不同）

クロッケーの部	本宿クラブ	グラウンドゴルフの部	額賀 林榮さん
ゲートボールの部	新田親和会		栗原 一夫さん
ペタンクの部	西蓮寺寿会		荒張 文子さん
輪投げの部	宇崎長寿会		一村 正巴さん
			真家 幸治さん

社会福祉協議会では用具の貸出を行っています。(ペタンク、輪投げ、グラウンドゴルフ等) また、これから競技を始めようと思っている方やさらに上達を目指す方に対してNPO法人わくわくニュースポーツクラブの講師幹旋なども行っています。詳細はお気軽にお問合せください。

介護予防教室参加者募集のお知らせ

～いきいきとした毎日のために、みなさんも参加してみませんか～

社協では高齢者の方を対象として介護予防教室を行っています。内容は体操やレクリエーション、ゲームなど様々です。また、教室を通じて参加者同士の交流が深まることも魅力のひとつです。

ふれあい広場 簡単なゲームや体操を行っています。

全 体	10:00～11:45	コテラス	12/3・2/4・3/4
太田地区	14:00～15:15	太田地区館	12/6・2/7
小高地区	14:00～15:15	小高地区館	12/11・2/12
大和地区	14:00～15:15	小牧集落センター	12/13・2/14
行方地区	14:00～15:15	西浦学習センター	12/18・2/19
麻生地区	14:00～15:15	麻生保健センター	12/20・2/21

※3月の日程は、12月開催時にお知らせいたします。

いきいきゼミナール シルバーリハビリ体操やゲームを行っています。

内宿ふるさと コミュニティーセンター	9:30～11:30	12/6・20 1/10・17 2/7・21 3/7・21
繁昌学習センター	13:30～15:00	12/11・25 1/8・22 2/12・26 3/12・26

元気で～さ～びす館 シルバーリハビリ体操や文化活動を行っています。

玉造農村 環境改善センター	10:00～15:00	12/3・17 1/14・28 2/4・18 3/4・18
------------------	-------------	-------------------------------

※お気軽にお問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎ 0299(36)2020

はじめての手話⑧

今回は公共の施設を表す手話を紹介します。
ぜひ、チャレンジしてみてください。

① 役所

左手掌に右肘を乗せ、指を伸ばして立てた右手を前後に動かし、



右手5指を折り曲げ、指を下に向けて軽く下ろす



② 銀行

両手2指の輪を左右に置き、同時に上下する



③ 郵便局

「〒」のマークと「局」の幹事の一部を組み合わせた表現



左手2指と右手人差指で「〒」の形を表し、



左手の指文字「オ」形の横で右手人差し指を下ろし、はね上げる

④ 公民館

左手人差指を斜め上にに向けて置き、



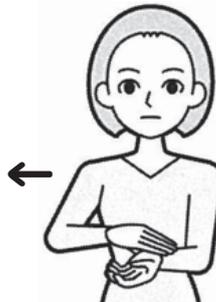
左手を残し、右手2指を左右に半回転しながら右へ引き、



両手で四角い建物の形を描く

⑤ 病院

左手首を右手の親指と4指の指先ではさみ、(脈をとる様子)



両手で四角い建物の形を描く



⑥ 学校

両手掌を手前に向け、斜めに立てて並べて置く
(教科書を広げている様子)



市内において活動している手話サークル

みんなの手あいちがい(麻生地区)、相生会あいちがい(北浦地区)、ほたる灯ひ(玉造地区)があります。手話に興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299(36)2020

社協のさびす ③ 福祉機器等貸出事業・福祉車両貸出事業

みなさんは一時的に車いすや福祉車両が必要になったことはないでしょうか。今回はそんな要望にお応えする福祉機器等貸出事業・福祉車両貸出事業をご紹介します。



A子さん：高齢の父を病院に連れて行きたいのですが、ケガの影響で歩行が不安定です。出来れば車いすを使いたいと考えています。



社協太郎：でしたら、社協から車いすを借りてはいかがでしょうか。



A子さん：それは助かります。こういった手続きが必要でしょうか？



社協太郎：利用の7日前までに申請書を提出してください。費用は無料です。貸出期間は原則として3ヶ月間です。

また、車いすを利用したまま乗降できる福祉車両の貸出も行っています。こちらも利用の7日前までにご連絡ください。費用は実費燃料費です。貸出期間は原則として2日以内です。



A子さん：車いすと福祉車両を借りられれば通院の負担が大分減ります。



社協太郎：もちろんどちらか一方の貸出も可能です。ぜひご活用ください！



※事業の状況によっては貸出できない場合もございます。事前にご確認いただきますようお願いいたします。

お問合せ 在宅福祉係 ☎ 0299(36)2020

行方市ボランティア連絡協議会が研修会を実施 いまだ残る震災の爪痕 ～現地で実情を伺う～

行方市ボランティア連絡協議会が、10月19日（土）に会員交流研修会を北茨城方面、いわき市方面において実施しました。119名の参加者がいまだ残る震災の爪痕を目の当たりにし「今、何が必要とされているか」を知ることができ、これからの活動に生かしていただけるのではないかと思います。ここに参加者の米澤精一さんに感想をお寄せいただきました。ご紹介いたします。

行方市ボランティア連絡協議会会員交流研修会に参加して

唄と日本舞踊友の会 米澤 精一

10月19日（土）北茨城市、いわき市方面へ研修会に行ってきました。いわき市の塩屋崎に至る海岸通りは大きな津波の襲来した地です。2年半を過ぎても大津波の傷跡は生々しく、土台だけの屋敷跡が随所に見られ、高く積み上げられた瓦礫の山が復興にはかなりの年月がかかることを思わせました。参加された皆さんは、100年に一度と言われている津波の恐ろしさをどのように感じたでしょうか。現地の方から当時の状況を聞くことができましたが、予想を遥かに超えていました。

北茨城市では、天心記念五浦美術館を見学、岡倉天心の燃ゆる心の一部を垣間見ることができたと思います。57歳で逝ったことは残念ですが、弟子たちが力を合わせてその志を継ぎ、日本画の立派な流れを伝えて下さったことは嬉しい限りです。

短い1日ではありましたが、実のある研修になったと思います。これからも続けてください。お骨折りいただいた会長さんはじめ、役員や事務局の方々に改めて厚く御礼申し上げます。

美しいまちづくりを願って ～ボランティア連絡協議会がごみゼロ運動を実施～



9月28日（土）に行方市ボランティア連絡協議会のみなさん44名の参加により、北浦公民館周辺の清掃活動が実施されました。

普段はあまりごみの存在を意識するほどではない場所ではありますが、それでも煙草の吸殻、空き缶、プラスチック製品等様々な種類のゴミが収集されました。この活動が、美しいまちづくりの一端を担うことを願ってやみません。みなさんお疲れさまでした。

皆様の善意を被災地へ



ふるさとふれあいまつりが開催された10月13日（日）、行方市ボランティア連絡協議会玉造地区委員会がバザー出店や募金活動を行い、合計39,704円の善意が集まりました。

それらは災害義援金（埼玉県竜巻災害・京都府台風18号災害）として被災地に送らせていただきました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



赤い羽根
共同募金

町に愛を。胸に羽根を。

イベント募金を実施しました



10月から11月にかけて市内各所において、共同募金運動の一環としてイベント募金を実施し、たくさんの方々から善意をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。また、実施にあたって市内ボランティアの皆さんにご協力をいただきました。重ねてお礼申し上げます。

共同募金運動の詳細につきましては次号（3月1日発行）にてご報告させていただきます。

歳末たすけあい事業

本年度も、12月1日から12月31日まで歳末たすけあい運動を実施いたします。

歳末たすけあい運動は赤い羽根共同募金の一環として実施されます。皆様よりお預かりした募金は、支援を必要としている方たち（ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障害者世帯）が地域で安心して新年を迎えることができるよう下記のような家事援助サービスに役立たせていただいております。

主なサービス内容 ①草抜き・草刈り ②居間の掃除 ③障子張り ④窓ガラス掃除 他

（取りまとめに関しては民生委員さんに、事業実施に関してはシルバー人材センターのみなさんにご協力をいただいております。）

母子・父子家庭の皆さん 親子で楽しいひとときを過ごしてみませんか！

ふれあい遠足参加者募集

期 日	平成26年2月22日（土）			
場 所	東京ディズニーランド*			
参加対象者	行方市在住の母子・父子家庭の方			
募集人数	30名			
申込期限	平成26年1月24日（金）			
参加費	大人	4,000円	中学生・高校生	3,000円
	幼児・小学生	2,000円	4歳未満	無 料

※参加費は当日集金いたします。



申込方法 下記の申込先に電話またはFAX、葉書にてお申し込み下さい。
申込の際には、保護者氏名、お子様氏名、年齢、住所、連絡先をお申し出下さい。応募者多数の場合、抽選により決定いたします。

参加者の決定 平成26年2月4日（火）までに、お申し込みいただいた方全員に参加の可否をご連絡いたします。

その他 ①参加決定後の変更はできません。
②東京ディズニーランド内での飲食等については各自負担になります。
※ご不明な点等はお問合せください。

平成26年度

小学校新入学児童に対する入学祝品の贈呈

行方市社会福祉協議会から、ひとり親家庭（母子家庭、父子家庭）のお子さんに入学祝品（学用品）を贈呈いたします。該当児童のいらっしゃるひとり親家庭で祝い品を希望される保護者の方は、保護者氏名、お子様氏名、性別、生年月日、住所、連絡先を1月31日（金）までにお申し出ください。入学祝品は2月初旬にお送りいたします。



お申込み・お問合せ

行方市社会福祉協議会 地域福祉係
〒311-3512 行方市玉造甲403番地 行方市玉造福祉センター内
電話 0299(36)2020 FAX 0299(55)4545

平成25年度茨城県

障害者スポーツ指導者養成講習会のお知らせ

- 期 日：平成26年1月25日(土)・26日(日)・2月2日(日)(3日間)
- 会 場：茨城県立リハビリテーションセンター
〒310-8555 笠間市鯉淵6528-2 TEL 0296(77)0626
- 対 象 者：茨城県内に在住または通勤・通学している18歳以上（平成25年4月1日現在）で、障害者スポーツの普及に理解をもち、ボランティア活動等に意欲のある方
- 定 員：40名(定員を超えた場合は抽選になります)
- 申込方法：受講申込書に記入の上FAXまたは郵送
(受講申込書は、行方市社会福祉協議会にあります)
- 申込締切：平成26年1月7日(火)必着
- 受講料：12,500円



お問合せ

茨城県障害者スポーツ・文化協会

TEL 029(301)3375

FAX 029(301)3378



チャリティダンスパーティが開催される

~ Shall we ダンス? 心と身体の健康のために~

11月1日(金)に北浦体育館において、チャリティダンスパーティが開催されました。今回で8回目となるこの催しは、老若男女問わずたくさんの方々に参加されました。参加者の方は「今日は市内外からたくさんの方々が集まってくれました。みなさん張りきっていますよ。」とおっしゃっていました。

また、一緒に踊ってくれる会員を募集しているとのこと。みなさんも心と身体の健康のためにいかがですか？

お問合せ

クリスタルダンスクラブ

会長 宮本 鶴寿

☎090(8893)6063



チャリティをご寄付いただきました

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
河野 眞 治	30,000	北浦
行方市玉造幼稚園	10,640	無指定
玉造陶芸愛好会	18,280	無指定
齋藤 豊	10,000	北浦
高柳 二郎	20,000	無指定
吉田 やい子	10,000	無指定
原 延 征	20,000	北浦
河野 一 夫	10,000	北浦
真家 喜之	10,000	北浦
土子 良徳	20,000	北浦
方波 見 二郎	20,000	北浦
武田 和 代	10,000	北浦
青木 浅 則	20,000	北浦
宮内 隆 治	20,000	北浦
塚本 義 行	30,000	北浦
山本 菊 衛	20,000	北浦
行方市体育協会ゴルフ連盟	74,000	無指定
横瀬 孝	20,000	無指定
社会福祉協議会現原支会	731,783	無指定
浅野 洋 治	10,000	北浦
齋藤 達 也	10,000	無指定
行方市商工会青年部	4,706	無指定
鈴木 通 哉	10,000	北浦
山野 みとり	20,000	北浦
邊 田 昭 一	20,000	北浦
玉造ロータリークラブ 会長 市村 靖	30,000	無指定
行方市文化協会ダンス部	23,250	無指定

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
茨城県退職公務員連盟 行方・潮来支部	タオル178本	無指定

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

広報委員

委員長 大軒 光江	委員 高橋さち子
副委員長 石橋 展子	山崎 實
委員 大久保 守	横田 照実
菅谷 京子	代々城千尋
磯山 正子	野原 芳次

行方市善意銀行

平成25年8月1日から平成25年11月1日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

玉造ロータリークラブ
(ふるさとふれあいま
つりでのバザー売上を
ご寄付いただきました)



行方市体育協会
ゴルフ連盟

編集後記

「なめんなよ いばらき」という今年の県のキャッチコピーが論議を醸しているというニュースを耳にしました。都道府県魅力度ランキングで今年再度最下位となってしまった私たちの県ですが、実はとても豊かで住みやすく、このコピーには「たくさんの魅力ある茨城を見くびらないでください」とのメッセージが込められているようです。仕事から地域づくりに関わる様々な方にお会いしてきましたが、市民活動の活発な街ほど住みやすく未来が楽しみであると感じてきました。各市町村が魅力あふれる街づくりに力を注いでいる時代ですが、地域を変えるのは住民である私たち自身。登下校の子ども達を見守ること、一人暮らしのお年寄りに声をかけることといった日常生活から、市民講座や講演会などで自らの地域力を深めることなど身近にはたくさんの芽があります。

行方にあるたくさんの魅力をアピールすることで住みやすい福祉のまちづくりの花を咲かせる。広報でそんなお手伝いできましたら嬉しく思います。

編集委員 横田 照実